

会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回下水道事業運営審議会	
開催日時	令和2年12月10日(木) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時	
開催場所	水道庁舎 2階 第2会議室	
出席者(委員)氏名	吉野修委員 小林修委員 田尻要委員 多田邦彦委員 山崎時敬委員 栗原三郎委員 小久保亮子委員 長島敬二委員 白鳥拓治委員 計9人	
欠席者(委員)氏名	なし	
事務局	長谷見都市整備部長 田島都市整備部次長兼下水道課長 長島副参事 藤野主幹 金子主任 香川技師 新井主事	
会議内容	(1) 行田市公共下水道事業経営戦略(原案) (2) パブリックコメントの実施	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市公共下水道事業経営戦略(原案) ・ 行田市公共下水道事業経営戦略(原案)について ・ 行田市公共下水道事業経営戦略(素案)の修正案 	
その他必要事項	傍聴者2人	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	年 月 日	Ⓜ

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1 開会</p> <p>配布資料の確認</p> <p>2 都市整備部長挨拶</p> <p>長谷見都市整備部長挨拶</p> <p>本日は、委員 9 人に対し出席は 9 人となっており、委員の過半数が出席していることから、審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は公開を原則としている。公開については、市ホームページや市役所本庁舎 2 階の市政情報コーナー等で公開する。</p> <p>なお、本日は傍聴人が 2 人いるが、ここで入室して良いか。</p> <p>（異議なしとの発声あり）</p> <p>本日は市長より諮問された議案はないため、協議会形式で進行させていただく。</p> <p>それでは、議事の進行を審議会条例第 6 条第 1 項の規定により吉野会長にお願いする。</p>
議長	<p>3 議事</p> <p>（1）「行田市公共下水道事業経営戦略（原案）」及び（2）「パブリックコメントの実施」について関連があるため一括審議として、事務局へ説明を求める。</p>
事務局	<p>はじめに、資料③を用いて、第 2 回審議会でもいただいた意見を基に修正した内容について説明。</p> <p>続いて、資料①②を用いて、「行田市公共下水道事業経営戦略（原案）」及び「パブリックコメントの実施」について説明。</p>
議長	<p>ご意見、ご質問はあるか。</p>
小林委員	<p>資料① 8 ページの新規整備についての記載内容と 11 ページの事業費の見通しのグラフについて詳細に説明頂きたい。</p>

事務局	<p>新規整備の年間整備量は令和8年度まで年間5ha、令和9年度以降は年間2haを予定している。令和8年度まで年間5haとしているのは、近年の整備量の平均値から設定している。また、現在社会資本整備総合計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用して新規整備を進めているが、交付金は令和8年度までで打ち切りとなる可能性があることから、令和9年度以降は市の単独費で整備を進める予定となっている。未整備となっている市街化区域が残っているため、令和6～8年度に幹線の整備を行う予定である。</p>
小林委員	<p>令和3年度の新規整備事業費が高い理由は何か。また、令和7年度のストマネ点検調査・修繕改築事業費が高い理由は何か。</p>
事務局	<p>令和2、3年度に新規整備事業費が高い理由は、藤原町地区の下水道整備を進めている中で、開削工法が困難な地区において工事費が高い推進工法を行うことによる。</p>
小林委員	<p>令和7年度にストマネ点検調査・修繕改築が高い理由は、令和6～9年度に谷郷ポンプ場の耐震工事を予定していることによる。</p>
小林委員	<p>令和3～12年度の間で整備する面積は38haとなるかと思うが合っているか。その場合、令和12年の整備率の目標値である86%に届くか。</p>
事務局	<p>令和3～12年度の間で整備する面積は38haを予定しており、この予定から目標値を設定している。</p>
小林委員	<p>計算すると今年度の実績が9haほど整備しないと目標を達成できないのではないか。</p>
事務局	<p>今年度の整備面積及び目標値の算出について確認する。</p>
白鳥委員	<p>パブリックコメントではどの資料を示すか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントで示す資料は資料②の経営戦略（原案）を予定している。</p>

白鳥委員	<p>一市民として資料をみたときに、内容がわかりづらいのではないかと。事業の計画から使用料見直しについて、市民の方に理解いただくには、46ページ以降をもう少し詳細に記載いただきたい。</p> <p>48ページ以降の見通しのグラフについて、計画期間は令和3～12年度であるが、令和2年度から示している理由があるのか。また、事業費の見通しは年度によるばらつきがあるが、その理由が疑問である。令和8年度までに集中して事業を行う必要があるのか、理由を記述した方がいいのではないかと。</p> <p>財政について、使用料見直し案として令和5年度に13%、令和10年度に12%値上げが示されているが、これは単純に全体の額を値上げするという考えか、料金体系の見直しは入っていないか。基本水量の見直しを検討いただきたい。基本水量は8トンとなっているが、そこまで使用していない人のことを考え、基本水量を下げ、低所得者層に配慮した料金体系を検討いただきたい。</p>
事務局	<p>今回の検討において、使用料の見通しは算出した使用水量に改定率を乗じて設定している。使用料の見直しや体系についての検討は来年度以降実施予定であるが、現状のままでは令和5年度に赤字となることから使用料見直し案を示している。</p>
議長	<p>具体的な検討はこれから先という話だが、使用料見直しの数値を資料で示すと、市民から見たときに既定路線のようにとられかねないかと。</p>
事務局	<p>今回のシミュレーションを実施するにあたり目標として、一つ目に47ページに示すように一般会計繰入金の基準外繰入金を段階的に0円まで下げることとしている。二つ目に50ページに示している経費回収率について、値上げしない場合、令和12年度で85%以下となっているが、令和10年度には100%を超えるように設定している。また、51ページに示したように令和5年度に自己資金残高がなくなり経営が成り立たなくなる。この3点から使用料見直し案の条件を設定した。ただし、この数値につ</p>

議長	<p>いては今後検討予定であり決定ではないことをご理解いただきたい。来年度以降、料金改定を含めた審議会を開催予定であり、その中で審議いただきたい。</p> <p>ご説明いただいた目標等について使用料見直し案の条件を示す前段で、記述するよう検討いただきたい。</p>
事務局	<p>市民にわかりやすい資料となるよう、原案とあわせて、概要版を作成してパブリックコメントで示すことを検討する。</p> <p>事業費については、藤原町地区の整備と併せて、令和6～8年度に未整備の市街化区域における幹線整備を行う予定である。</p>
議長	<p>使用料の見直しを条件なしに示すのではなく、丁寧な記述をして市民の理解が得られるよう配慮いただきたい。</p>
多田委員	<p>資料①11ページの事業費の見通しで、特出して高くなっている年度があるが、ストックマネジメントの中で平準化を行っても難しかったのか。</p>
事務局	<p>特出しているのは谷郷ポンプ場の耐震工事であるが、1年での実施が難しい金額であるため、令和6～9年度の4か年にわけて実施していく予定としている。</p>
多田委員	<p>基準外繰入金を段階的に0円まで下げることが目標としているが、目標となる年度があるか。</p>
事務局	<p>資料①10ページにおいて、令和3年度の3.5億円から計画期間である令和12年度に0円を目標としており、1年間で約3千万円～4千万円ずつ減少させる計画としている。</p>
多田委員	<p>先ほど指摘があったように、この資料を市民が理解するのは難しいかと思うので、概要版を作成いただければよいかと思う。概要版作成にあたっては、使用料の見直しは市での努力をした上であるという内容を原案と同様に盛り込んでアピールしていただきたい。</p>

小林委員	<p>事業費の見通しについて、ストマネ点検調査・修繕改築の中で各年度実施する点検調査と修繕改築、またマンホールと管路はどのような割合となっているか。</p>
事務局	<p>現段階では、マンホール点検を実施しており、改築はマンホール蓋の取り換えを行っている。現状、点検がメインとなっており、修繕・改築は今後進める予定で、現状はマンホール蓋のみ実施している。</p>
小林委員	<p>点検等の委託がそれぞれいつまでとなっているか。</p>
事務局	<p>マンホール点検は、平成30年度から開始し、ストックマネジメント計画で8年間を目標に全マンホールの約7000基を行う予定となっている。現状計画より進捗が良く、令和6年度を目安にマンホール点検が終わる予定となっている。マンホール点検で異常が発見された箇所は順次管路内調査を実施予定である。</p>
小林委員	<p>マンホール点検で異常があった箇所について管路内調査をするということは、約250kmある管路全体の点検は実施しないのか。</p>
事務局	<p>マンホール点検において、マンホールから管路内の異常を確認している。さらに、異常がみられる部分については管路内調査を実施する。この管路内調査は昨年度から順次実施している。</p> <p>経営戦略の計画期間内では点検・調査がメインとなっており、マンホール点検を実施して異常がある部分について管路内調査を平行して行っている。その結果を経て、健全度や緊急度を判定して布設替えや管更生等を検討して、改築を実施していく予定である。</p>
多田委員	<p>近年ゲリラ豪雨や台風による雨水関係の被害が多発しており、国において雨水管や合流管のあり方などが検討されている。今回の計画にもそういった視野が盛り込まれているが、引き続き国の動向を踏まえて検討を進めていくようお願いしたい。</p>

議長	<p>それでは他に意見がないようである。様々な意見・質問をいただいた。</p> <p>概要版については、私が確認した後、パブリックコメントに進めるということによろしいか。</p> <p>以上で議事のすべてが終了となったので、議長の任を解かせていただく。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>その他について、事務局から事務連絡をする。</p> <p>次回の審議会について、2月上旬から3月中旬に第4回審議会の開催を予定している。内容は、パブリックコメントの結果報告とパブリックコメントの結果を反映させた経営戦略（案）についてご審議いただく予定となっている。開催日時等の詳細は改めて連絡するためご協力いただきたい。</p> <p>5 閉会</p> <p>閉会挨拶 田島都市整備部次長兼下水道課長</p>